

# 令和5年度 城西中学校 学校評価計画

	重点目標	活動計画	評価指標
未来を拓く学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学ぶ」の楽しさを体得できる授業</li> <li>教育DX推進事業によるタブレットやICT活用の推進</li> <li>主体的・対話的で深い学びにつながる授業</li> <li>発達段階に応じた生徒の個性やニーズに届くキャリア教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の意欲が高まるような課題や問題を設定し、わかりやすい授業の組立を工夫する。</li> <li>「本時の目標・ねらい」「学習の流れ」「振り返り」を意識した授業を行う。</li> <li>学習の過程において、自分の考えや思いを他者に表現する場面を取り入れ、対話的な学びを深める。</li> <li>毎日の家庭学習の時間設定や取組が、効果的な主体的学びにつながることを知らせる。</li> <li>1人1台のタブレット端末を活用し、Metamoji ClassroomやMicrosoftteams等を用いて、効果的な学習指導に努める。</li> <li>働くことの意義や職業についての理解を深め、職業観・勤労観を育てるために、進路や職業についての学習や講演会などを通して、自分の将来を見つめることができる教育を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のわかりやすさを肯定する生徒が85%以上である。</li> <li>「本時の目標・ねらい」「学習の流れ」「振り返り」の提示、タブレットやICTを活用した授業改善や工夫を行っている教師が95%以上である。</li> <li>毎日、家庭学習をしていると回答した生徒が85%以上である。</li> <li>自分の考えや思いを、自分の言葉で表現したり他者に伝えたりすることができたと回答する生徒が85%以上である。</li> <li>働くことや職業に関心を持ち、自分の進路や将来について意欲的に考える生徒が80%以上である。</li> </ul>
生徒理解・生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>校訓の精神に基づいた日常生活指導</li> <li>自立するための人間力(あいさつ・時間等)の育成</li> <li>生徒・保護者・関係機関との連携による個別最適対応</li> <li>個性・特性を伸ばす機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態把握に努め、心の悩み、いじめの早期発見・早期解決に努める。教育活動全体において、学校や社会のルールを遵守する姿勢を育み、安心安全な学校づくりを目指す。</li> <li>関係機関と連携し、生徒の未来につながる広い視野をもった生徒指導を実践する。結果、「力行」の精神を身につけ学ぶ、生きる力を備えた生徒の育成を目指す。</li> <li>配慮の必要な生徒に対して、引き継ぎシートやチェックシート等を活用し、家庭との連携を深める。学年でも共通理解をはかり、支援計画等を作成・活用し、支援を行う。さらに、職員会等での教職員とも共通理解をはかり、全教職員で支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のルールを守って生活できていると答える生徒、校訓の教えを意識して積極的にあいさつをするようにしていると答える生徒がそれぞれ95%以上である。</li> <li>いじめや暴力がなく、みんなが楽しく過ごせる学校づくりに協力できていると答える生徒が90%である。</li> <li>いじめや暴力がない楽しい学校作りができていると答える保護者が80%以上である。</li> <li>先生が学校生活の中で困ったことやわからないことに適切なアドバイスをしてくれると答える生徒が80%以上である。</li> <li>子どもが困ったことや悩みを先生に相談していると答える保護者が80%以上である。</li> </ul>
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・差別を見逃さず、共に解決するための取組</li> <li>行事などを通じての個性を認め合う仲間作り</li> <li>情報モラル教育の推進</li> <li>道徳科授業の改善と評価の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態をしっかりと把握し、一人ひとりがそれぞれの悩みや願いを出し合え大切にされる学級集団作りを通して、仲間意識を育てる。</li> <li>清掃活動や環境美化に積極的に取り組む姿勢を育てる。</li> <li>さまざまな人権問題について正しい情報を正しく認識し、差別を鋭く見抜き、差別解消に向かって取り組んでいく意欲と実践力を育てていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>困ったときに、先生が自分の悩みを聞いてくれたり相談に乗ってくれたりする、と答える生徒が80%以上である。</li> <li>クラスの居心地がよいと答える生徒が80%以上である。</li> <li>生徒、教職員のみならず来校者からも環境美化整備がされていると認められる。</li> <li>道徳の授業や人権学習に前向きに取り組めたと答える生徒が85%以上である。</li> </ul>
安全・安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常時対応の徹底</li> <li>感染症予防等を中心に据えて健康・安全への意識向上</li> <li>交通安全指導への継続的な指導と環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災・減災についての意識・知識を高め、災害時に適切な行動を選択できるよう、避難訓練を年3回以上実施するとともに、教科等の中でも自然災害についての学習指導を行う。</li> <li>登下校時の交通安全に対する意識を高め、交通マナーの向上に努める。</li> <li>事故件数やマナー違反の事例を適宜周知し、積極的に生徒・教職員の安全意識の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有事の際の避難場所や、避難の仕方について理解し、行動できる生徒が90%以上である。</li> <li>自転車通学生のヘルメット着用率が100%である。</li> <li>学校敷地内では自転車を下りて押している。</li> <li>安全意識を向上させることで、交通事故件数の減少に努める。</li> <li>交通ルールを守って登下校できていると答える生徒が95%以上である。</li> </ul>
健康教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康的で好ましい生活習慣の定着</li> <li>養護・体育・給食・部活動等からの積極的な情報発信</li> <li>学校医・学校歯科医・学校薬剤師・SC等専門スタッフからの知見の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断結果や生活習慣に関するアンケート結果を活用した保健指導を行う。</li> <li>教職員間に加え学校医、SC等とも連携し、生徒自身が心身の健康保持や生活習慣改善に向けて、積極的に取り組む態度を育てる。</li> <li>「お弁当の日」や給食の時間、各教科の食に関する指導を通して、心身の健康を保持増進しようとする態度の育成と食物を大事にし感謝する心を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よい生活習慣を身につけようと努力している生徒が85%以上である。</li> <li>食物を大事にし、感謝の気持ちをもつ生徒が95%以上である。</li> </ul>
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ホームページ等を活用した学校情報の提供と教育活動の発信</li> <li>地域や社会の活動への参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の活動風景や活動予定等を配布物やホームページを通してわかりやすく伝える。</li> <li>地域との連携に努め地域行事に積極的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の様子がわかると答える保護者が80%以上である。</li> <li>地域行事に参加する生徒が年間総数300人以上である。</li> </ul>